

ニクス済生

THE NEWS SAISEI



発行所
社会福祉法人 済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073
電話 03-3454-3311
FAX 03-3454-5576
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

高松宮記念基金にご協力ください

令和2年1月～12月分実績

◎本会会員加入状況	40,851人	89.4%
	46,234口	9,246万円
◎外部会員加入状況	5件	30千円
◎一時寄付状況	39件	415万円
	(内、自販機関係)	70万円
◎募金箱		99万円

令和3年1月分実績

◎本会会員加入状況	28,025人	81.2%
	32,433口	6,486万円
◎外部会員加入状況		
◎一時寄付状況	5件	7万円
	(内、自販機関係)	1万円
◎募金箱		6万円

高松宮記念基金に寄贈

山下真臣 元済生会理事長
ご遺贈 200万円

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 50万円 (本部扱い)

秋篠宮皇嗣殿下おことば 全職員に「お体をお大事に」

新型コロナ

総裁・秋篠宮皇嗣殿下は1月25日、済生会の新型コロナウイルス感染症対応状況を説明を受けられた。秋篠宮邸と済生会本部事務局及び3病院をテレビ電話で結び、本部から炭谷茂理事長と松原了理事、(埼玉)川口総合病院の佐藤雅彦院長、(大阪)中津病院の川嶋成乃亮院長、(福岡)八幡総合病院の北村昌之院長が出席した。殿下への説明は昨年5月11日に続いて2回目。

炭谷理事長が全病院の受け入れ状況や済生会の新型コロナウイルスへの対応方針、個人や企業・団体から寄せられた寄付などを説明。

佐藤院長は「患者の重症度が上がっていて、職員は今まで以上に張り詰めた環境下で業務に当たっている。一息をつく場もなく疲弊感が強く漂っておりモチベーションの維持に苦労している」と述べた。

川嶋院長は、「高齢者の感染が大きな課題。重症化しやすいだけでなく、身体介助をしながらの診察には多くの人員を要する。治療後のリハビリ施設への転院についても、介護士などに対する感染管理の指導や教育が必要」と話した。北村院長は、「数少ない職員の集中で重点医療機関として



「特定検診施設及び再建・統廃合資金(仮称)の創設に係る事前説明会」が1月13日と18日にWebで開かれた。37支部の支部長や常務理事ら責任者が参加した。

近年の厳しい経営環境や地域医療構想等を踏まえ、済生会では施設の統合や廃止を想定した議論や合意形成の仕組みについて、施設運営委員会、理事会、評議員会で検討が進められている。その趣旨を理解してもらうために開催。存廃の議論を行なう施設を「特定検診施設」として位置づけ、債務を法人全体で負担するための「オンラインネットワーク」として「再建・統廃合資金」の新設が協議されていることなどが説明された。

炭谷理事長は冒頭、「済生会各支部が独立採算で事業運営をしてい

再建・統廃合資金新設 支部責任者に仕組みを説明

「特定検診施設及び再建・統廃合資金(仮称)の創設に係る事前説明会」が1月13日と18日にWebで開かれた。37支部の支部長や常務理事ら責任者が参加した。

近年の厳しい経営環境や地域医療構想等を踏まえ、済生会では施設の統合や廃止を想定した議論や合意形成の仕組みについて、施設運営委員会、理事会、評議員会で検討が進められている。その趣旨を理解してもらうために開催。存廃の議論を行なう施設を「特定検診施設」として位置づけ、債務を法人全体で負担するための「オンラインネットワーク」として「再建・統廃合資金」の新設が協議されていることなどが説明された。

炭谷理事長は冒頭、「済生会各支部が独立採算で事業運営をしてい

名誉4、功労2、寛水賞3 表役職員 永年勤続は2570人

令和2年度の済生会表彰者が決まった。功績による会員及び永年勤続者合計は2579人。12月に行なわれた功績調査委員会の書面審議を経て1月29日に確定した。表彰日は令和2年度済生会総会を予定していた2月28日付け。

●名誉会員
西田保二・群馬県済生会支部長(前橋病院名誉院長)▽前川勝治郎・内牧クリニック院長▽埼玉▽今野敏伸・小田医療・福祉センター長▽愛媛▽山本昌也・松山老人保健施設にきたつ苑苑長

●功労会員
山本幸治・松阪総合病院医療技術部長▽三重▽赤在義浩・岡山済生会総合病院特任副院長
●寛水賞(功労会員のうち看護職に授与)
鈴木美代子・宇都宮病院看護副部長▽栃木▽山崎みゆき・境港総合病院看護副部長

永年勤続 30年以上292人

30年以上292人▽20年以上1582人▽10年以上1582人の計2570人。

表彰は令和2年度済生会総会の席上で行なわれる予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。そのため2月下旬に表彰状と記念品が各支部に送られる(済生)に受賞の言葉。(総務課)

オンライン資格確認システム導入促進を

さらに、国がマイナンバーカードを健康保険証として医療機関等で利用できるようにする「オンライン資格確認システム」についても、導入の背景と必要性を本部が説明した。このシステムにより、施設は限額情報や薬剤情報の閲覧、レセプト返礼の削減、窓口業

「令和賞」に有田病院 新型コロナ対策の模範に

令和2年度済生会令和賞に(和歌山)有田病院が選ばれた。

同賞は、令和の新時代に済生会がさらに飛躍していくため名譽の向上に寄与した施設を年に一度顕彰する。患者・利用者に対するサービスの質の向上や経営の改善、地域貢献など、職員一丸で取り組んでいる施設に贈られる。

有田病院は、昨年2月13日に国内で初めて新型コロナウイルスの院内感染が判明。前例がない非常事態の中、素早い決断と初期対応で感染拡大を封じ込めた。徹底した職員の体調管理やPCR検査の実施、3週間にもおよぶ病棟の完全封鎖などの対策は大きく報道され「有田モデル」として世界的に注目を浴びた。接触者外来、通院中の慢性患者の「お薬相談コーナー」を次々に設置するなど、地域住民の不安

積立は約37億4千万円

退職手当等運営委員会は2月4日、Web会議で開催された。

議案は「令和3年度退職手当等事業計画及び同会計予算(案)」の1件で、同年度の登録者数を1万6333人、支給対象高木 誠殿 100万円
中田宗彦殿 90万円
株式会社稲川良一商店殿 200万円
出光昭介殿 500万円
奥田周平殿 100万円
角田信子殿 300万円
リイ 啓子殿 50万円
渡辺昭司殿 50万円
サーモス株式会社殿 99万7040円
株式会社ケアサービスまきの実殿 50万円
医療法人社団慶勝会殿 50万円
三原弘志殿 200万円
(中央病院附属乳児院へ)
滋賀県済生会

退職手当等運営委員

積立は約37億4千万円

退職手当等運営委員会は2月4日、Web会議で開催された。

議案は「令和3年度退職手当等事業計画及び同会計予算(案)」の1件で、同年度の登録者数を1万6333人、支給対象高木 誠殿 100万円
中田宗彦殿 90万円
株式会社稲川良一商店殿 200万円
出光昭介殿 500万円
奥田周平殿 100万円
角田信子殿 300万円
リイ 啓子殿 50万円
渡辺昭司殿 50万円
サーモス株式会社殿 99万7040円
株式会社ケアサービスまきの実殿 50万円
医療法人社団慶勝会殿 50万円
三原弘志殿 200万円
(中央病院附属乳児院へ)
滋賀県済生会

寄贈

茨城県済生会 300万円
太田敏子殿 (神栖済生会病院へ)
埼玉済生会 50万円
小鍛冶吉雄殿 (川口総合病院へ)
東京都済生会 300万円
出光正道殿 300万円
六島 寛殿 80万円
(中央病院へ)
高木 誠殿 100万円
中田宗彦殿 90万円
株式会社稲川良一商店殿 200万円
出光昭介殿 500万円
奥田周平殿 100万円
角田信子殿 300万円
リイ 啓子殿 50万円
渡辺昭司殿 50万円
サーモス株式会社殿 99万7040円
株式会社ケアサービスまきの実殿 50万円
医療法人社団慶勝会殿 50万円
三原弘志殿 200万円
(中央病院附属乳児院へ)
滋賀県済生会

JR Aファシリティアーズ株式会社 500万円

大阪府済生会 60万円
山野敏行殿 (高寿園及び吹田訪問看護ステーションへ)
奈良県済生会 100万円
福井智人殿 (奈良病院へ)
岡山県済生会 100万円
加藤正廣殿 (備中庄へ)
岡山済生会総合病院名誉院長 広瀬周平氏が逝去

岡山済生会総合病院の広瀬周平名誉院長が1月8日、逝去された。87歳だった。告別式は岡山市の清輝橋シティホールで家族葬にてしめやかに執り行なわれた。

広瀬氏は昭和33年に岡山大学医学部を卒業され、47年に岡山済生会総合病院に入職。平成4年に副院長、9年に院長に就任。15年まで務めた後、同名誉院長。9年から24年まで岡山県済生会理事。13年に第63回日本臨床外科学会学会賞、16年に済生会名誉会員表彰を受賞された。

謹んで、冥福をお祈り申し上げます。



ソーシャルインクルージョン

新サイト出来ました!

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/>

済生会の新ウェブサイトに「ソーシャルインクルージョンを知る・見つける・支えるサイト」(愛称:シンク!)が2月19日、オープンした。本会が推進するソーシャルインクルージョンを一般に広くPRするもので、活動の紹介とともに、活動する人々の思いを伝えていく。メインコンテンツの「知る」では、済生会で「行なっている幅広い活動を紹介」「見つける」では、済生会ソーシャルインクルージョン推進計画「1641の決意」をデータベース化。エリアやカテゴリなどの絞り込み検索もできる。毎月5本の記事を公開予定。<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/> (広報室)



四団体が新型コロナウイルスの対応等で「意見交換会」

済生会・日赤・厚生連と全国自治体病院協議会と四団体は2月4日、W e bで新型コロナウイルスや地域医療構想への対応等について意見交換会を開催、各団体から合計9人の役員が出席した。意見交換会は、従来の医療提供体制のあり方を決める地域医療構想について、団体間で情報共有を図るために平成31年1月に第1回が実施され今回で3回目。各団体から感染症患者の受け入れ状況、診療体制、病院収支状況が報告された。済生会は厚労省が再編・統合の対象と

して実名を公表した20病院(当初は21病院だったが東京・中央病院が昨年1月に除外)のうち、12病院がコロナの重点または協力医療機関の指定を受けており、コロナ対応にあたっては報告した。済生会の松原理事は「コロナ禍において我々四団体が社会的責務を果たしていることを再認識してもらえた。四団体の活動を世間にもっと発信していきたい」と訴えた。全国自治体病院協議会の小野会長は「重点・協力医療機関以外の病院も含めて経営安定のための財政支援を講ずることなど、国へ働きかけていきたい」と述べた。(経営管理課)

コロナ禍の看護を考える 中堅看護師AM研修Ⅲ

中堅看護師(全国済生看護職教育体系クリニカルラー・レベルⅢ)Ⅳ以上を対象とした「アドバンス・マネジメント研修Ⅲ」が1月20、22日にオンラインで開催され、70施設から70人が参加した。研修は成谷理事長の基調講演「看護に関する済生会原論」新型コロナウイルスによる転換期での済生会の進む方向から始まり、「このような時こそ世界最大の医療と福祉サービスを提供する済生会が一体となって徹底した対策を行ない、攻めの姿勢で危機を乗り切りたい」と語った。



「医療広告の注意点 済生記者研修会」 済生記者に求められる知識と技術の習得、広報マインドの醸成を図ることを目的に、済生会広報実務研究会と本部広報室が共催する済生記者研修会が1月15日にリモートで行なわれ、病院や福祉施設の広報担当者70人が参加した。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、従来の集合型の研修ではなくZoomを活用し3回のシリーズで実施、最終回のこの日は「著作権と肖像権」「危機管理広報」について、事例発表も交え実施された。はじめに、京都府病院の松岡志穂氏と白須優也氏が「著作権と肖像権」と題し、インターネットから入手する画像等の使用方法や院内イベントで撮影した写真の掲載方法の注意点を解説した。「危機管理広報」は、岡山県済生会支部事務局参事の高市真須美氏が、岡山済生会総合病院で昨年起こった2件の記者会見についての対応状況を説明。その中で「危機管理広報は準備が重要。想定されることを事前に検討し文書にまとめ関係者で共有することが大切」と話した。(広報室)

〈東京〉中央病院副院長 兼看護部長・樋口幸子氏の講義「より輝ける看護師を目指して」では、同院での課題解決の方法や看護部独自の取り組みを紹介。「少子超高齢化の日本において多様性を受け入れる人材マネジメントが重要になる。コロナ禍で円滑な人間関係を持つ術が変化した。今まさに中堅看護師が新しいコミュニケーションを取り入れ輝く時」と話した。2日目からは高輪心理臨床研究所主宰・岸長範氏による講義とグループワーク。「人間関係とリーダーシップ/互いに育てあう職場を目指して」と題し、人間関係の構築における「聴く」重要性やコロナ禍での不安・ストレスが、職場での人間関係やコミュニケーションにどのような影響を及ぼすかを解説。「リーダーシップ」をテーマにしたグループワークでは「指導時に主目的より感情的になってしまった」「新しいことを提案する側も不安な気持ちになっていく」といった意見が聞かれた。岸氏は「反対意見でも相手の意見を認め、尊重しあえる関係づくりが大切。どんな意見も組織の新たな価値観、知恵となる」と総括した。(看護室)

3月の予定
2日 施設運営委員会 (本部)
18日 理事会 (本部)
19日 済生会地域包括ケア連携土曜フォーラム研修 (本部)
24日 施設運営委員会 (本部)
28日 評議員会 (本部)

トレスが、職場での人間関係やコミュニケーションにどのような影響を及ぼすかを解説。「リーダーシップ」をテーマにしたグループワークでは「指導時に主目的より感情的になってしまった」「新しいことを提案する側も不安な気持ちになっていく」といった意見が聞かれた。岸氏は「反対意見でも相手の意見を認め、尊重しあえる関係づくりが大切。どんな意見も組織の新たな価値観、知恵となる」と総括した。(看護室)

INNOVATION FOR BUSINESS

株式会社白橋は、お客様の「思い」をカタチにするお手伝いをいたします。

その案件、まだあきらめないで!

Shirahashi INNOVATION FOR BUSINESS

03-3551-1181 株式会社白橋 〒104-0032 東京都中央区八丁(4-1)

http://www.shirahashi.co.jp/ 詳しくは 白橋 検索

日本初 看護業務補助者のための保険

Willnext-Assistant

年間掛金 1,790円 (個人加入の場合)

こんな時に安心です!

新型コロナウイルスやインフルエンザに罹患したら...

入院、通院・自宅待機 日数に応じて 見舞金 1~10万円

患者さんにケガをさせてしまった

お問い合わせ・パンフレットのご請求は 0120-557512

9:00~17:00 (土日祝を除く) 携帯電話からもご利用になれます

資料請求はこちら

共済制度運営・集金者 一般社団法人 日本看護学校協議会共済会

お問い合わせ先・取扱代理店 (株)メディックプランニングオフィス 〒104-0033 東京都中央区新川2-22-6 5Jビル2F

引受保険会社 メディカル少額短期保険株式会社 〒104-0033 東京都中央区新川2-22-2 新川佐野ビル4F TEL:03-5244-9681